

支援教育コーディネーターだより

はらっぱ

川崎市立下作延小学校
支援教育コーディネーター
原 和美
R6. 5. 10

失敗できる安心

川崎市では「支援教育」を推進しています。支援教育とは、障害の有無や生まれ育った環境に関わらず、すべての子どもがいきいきと個性を発揮できるよう、一人ひとりの教育的ニーズに適切に対応していく教育です。(かわさき教育プラン 第3期実施計画より) 下作延小学校では、その一つとして、毎年、「平等と公平」について知り、考える時間を設定しています。また、今週の朝会では、先日の学校説明会で保護者の皆様にお伝えした「いじめ防止」について子どもが考える時間を設けました。

子どもたちの生活の中では、どうしたってトラブルは発生します。傷ついたり、傷つけたりしてしまうことがあります。子ども同士でトラブルを解決することが理想ですが、経験を通して学んでいる最中の子どもたちには自分の力で解決できないこともあります。そのときに、近くにいる大人がこのトラブルを子どもたちの自律に結びつけられることを最終の目標にしていると、問題解決の進め方が変わってきます。見守ることも一つの方法です。「自分とちがうことが受け入れられない」なら、多様性について学ぶきっかけに。「仲良くなりたかった」なら、相手との距離感を学ぶきっかけに…。私は、学校で起きる様々なトラブルが子どもたち一人ひとりの成長につながるよう、見極め、支援できる大人でありたいと思います。子どもは失敗して当たり前。失敗は、成功を形づけている大人側の見方であり、子どもたちにとっては、失敗ではなく学びです。

一人ひとり、ちがう個性をもち、必要な手助けもそのタイミングもちがう。それが当たり前になるために大切なことは、子どもたち自身や周りの大人たちが「ひとりひとり、みんなちがうことを知り、みんなが安心して過ごせるようにしていく」ことだと思っています。目に見えるちがいにとらわれることなく、理解しようとする心やよりよくしようとする想像力の大切さを感じています。未熟な子どもたちは、とても柔軟です（大人よりもずっと）。子どもたちが安心して失敗できる環境を共につくっていきましょう。

学校生活で気になることや心配なことがありましたら、ぜひ相談にいらしてください。早期対応は、早期解決につながります。心理の専門資格を有する「学校巡回カウンセラー」との相談も可能です。希望される方は、まずは支援教育コーディネーターにご連絡ください。

電話：044（822）0723（下作延小学校 職員室）
担当：原 和美（はら かすみ） / 支援教育コーディネーター